

令和6年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
1	小諸市農村資源活用交流施設	佐久浅間農業協同組合	農林課	C (C)	59 (58)	【指定管理者意見】 入館者数については前年度より3%増加し、直売所利用者数については昨年度より10%増加した。イベントについては、三岡共選所で開催していた「ふじまつり」をあぐりの湯で開催した。恒例のあぐり祭も開催でき、同時に感謝ウィークも行った。節電・節水・夏期の間は時間でボイラーを止めることにより水道光熱費の削減をしている。 現金過不足については無かった。毎月自主点検により現金監査を行い、現金扱い者の職場離脱を行いながら現金管理の厳格化を図っている。領収書及び他書類についても監査室等の監査・指導を受けながら業務を行っている。設備についての保守・修繕については市と協議していき、お客様が快適に過ごしていただくよう努力している。 【所管課意見】 安定した施設運営が行われていると捉えている。しかし、新たな利用者を獲得するための事業や収入を増加させるための取組みが課題である。また、R7.6に利用料金の改定(500円→700円)をしたこともあり経営状況の改善について期待をしている。
2	小諸市農産物加工施設	味工房「小諸すみれ」	農林課	C (C)	59 (59)	【指定管理者意見】 時期により作業やイベントが重なり、非常に多忙を極めもう少し人手が欲しいが、作業が少ない時期とのバランスが難しい。高齢化が進んできているので、今後の担い手などを考えていかなければならない。 すみれの商品として定着し、知られているものが増えてきているので、引き続き頑張っていきたい。 【所管課意見】 高齢化による人手不足が年々深刻化しており人員の確保が課題である。生産コストの削減や新商品の開発の取組等、今後の活動に期待している。
3	小諸市西小諸活性化施設	西小諸活性化施設運営委員会	農林課	C (C)	60 (60)	【指定管理者意見】 利用状況では、令和6年度は利用件数155件、利用人数3,439人と前年度と比較し利用件数は増加したが利用人数は減少した。令和6年度に実施した菜の花まつりは好天に恵まれ大勢の来場者が訪れたが、秋の収穫祭及び新そば祭りでは、雨天だったこともあり前年より来場者が少なかった。しかし、大勢の来場者が西小諸地区に足を運び、賑わいが創出されている。運営面では、開館時より課題であった事務及び会計を担う人材を確保したことにより、安定的に施設運営できる体制が整えられた。 【所管課意見】 持続可能な組織体制を構築するとともに、新たなイベント等の企画を期待する。
4	小諸市民ガーデン	(特非)こもろの杜	商工観光課	C (C)	65 (67)	【指定管理者】 令和6年度は、諸経費の値上がりの中で、サービスは低下させずに支出を抑えて、ショップやカフェでの売り上げ増に向けてさまざまな工夫を重ねました。生産者や地域グループをコーディネートしての多様なイベント企画、SNSや紙媒体(ガーデンだより)による発信などを精力的に取り組みました。サイバー攻撃を受けてお客様や小諸市様にも、ご迷惑ご心配をかけてしまいました。今後は、ネットおよび施設管理面でもセキュリティの強化に努めてまいります。 【所管課】 小諸市の玄関口として、多くの市民、観光客が訪れる施設となっており、利用者からの評価も高い。多彩なイベント・講座を主催し、また市や会議所の事業にも積極的に協力し利用者の増に務めている。駅前の立地を活かし、人が集まる魅力的な場所として懐古園、本陣主屋、大手門公園、相生町商店街等と一体化とした「回遊性」のある、まちづくりの拠点施設として今後の活躍に期待したい。サイバー攻撃を受けたが、原因の特定、HPの閉鎖、関係者への連絡、行政、警察への通報等速やかに対応した。

令和6年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
5	小諸市北国街道ほんまち町屋館	本町区	商工観光課	C (C)	63 (58)	来館者数は7月の健速神社例大祭、2～3月のお人形さんめぐりにより増加しているが、貸館利用が減っています。継続使用している諸団体の高齢化による解散等が要因と思われる。コロナによる制約も無くなったので、新たな利用者の獲得、収入の増加のための積極的な広報活動を期待します。スタッフの高齢化の課題もあり、事業内容は現状維持となりつつあるので、若い世代を交えた自主事業の検討が必要です。本町区民による年18回の清掃作業を行っています。
6	小諸市北国街道与良館	与良区	商工観光課	C (C)	63 (61)	与良館独自の自主事業の実施や物販を行い、地域コミュニティの場が定着している。地域の高齢者の憩いの場、また来訪者のおもてなしの場として定着している。スタッフの高齢化により、指定管理を継続していくこと自体も困難となる懸念がある。地域の若い世代を交え、運営をしていく必要がある。 歌声喫茶や田んぼの運営など自主事業に積極的に取り組んでおり定番のイベントとなっている。
7	小諸市旧脇本陣滞在型交流施設	(一社)こもろ観光局	商工観光課	C (C)	62 (60)	【指定管理者意見】 稼働率の標準化を図ることを目標に、茶屋・部屋貸し・自主事業は採算は合わないので、採算性の確保できる安定した宿泊客を確保し、不採算部門の埋め合わせを図る。また、客の入り状況に合わせた柔軟な労働環境をつくり、損益分岐点を下げる。あわせて、客室と同数の風呂を確保し、キャンセルを少なくしたい。 【所管課意見】 リピーターも多く、利用者から朝食がおいしいなど高評価を得ている。利用者数も着実に伸びている。
8	小諸市福祉企業センター	(福) 長野県知的障害者育成会	福祉課	C (C)	61 (62)	【所管課意見】 物価高騰により協議のうえ、令和6年度より指定管理料を225万円から300万円へ増額した。生活保護受給利用者数が増加したが、平均年齢66.1歳と高齢化が進んでいる。アンケート調査結果からも「福祉企業センターを利用して良かったと思う」回答が多いことから、福祉の受け皿として必要な施設と考えます。正規職員が1名減となり、サービスの質をどう維持していくかについて注視して行きたい。
9	小諸市野岸の丘総合福祉センター	(福) 小諸市社会福祉協議会	福祉課	C (C)	59 (60)	【指定管理者意見】 季節毎に敷地内(通路含む)の草刈り、樹木の枝払いと枝の処分、降雪後の雪かき作業などをこまめに実施し、利用者が気持ちよく利用できるような環境整備に努めている。但し、トイレや空調、玄関周辺等修繕や設備が必要な箇所は依然残っており、計画的に修繕を進める必要がある。特に近年の酷暑の影響から2階会議室の冷房設備改修は利用者からも要望が出されており、また館内照明のLED化についても早急に検討・対応を要すると考えている。利用者が来館しやすい・利用しやすい施設を目指して、来年度は更なる環境整備に努めたい。 【所管課意見】 エレベーターが古すぎてメーカーより大規模修繕対応は困難ということがこれまでも課題となっています。令和6年度でもって障がい児の放課後デイサービスが終了したことに伴い、これまで文化センターで月1回開催している在宅サービス調整会議を2階大会議室で開催することとなった様子です。在調会議では、高齢者や身体障がい者も出席することから、エレベーター問題はマネジメント推進係と検討し、対応していきたいと考えます。

令和6年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
10	多機能型福祉施設小諸みかげ	(福)長野県知的障害者育成会	福祉課	C (C)	61 (61)	【指定管理者意見】 令和6年度は、物価高騰対策支援金が減額されましたが、4月の報酬改定で報酬単価が上昇したことによって事業収益は増収増益となりました。令和7年度も安定した経営を維持してまいります。 【所管課意見】 計画相談支援事業の閉所事業所からのケースの移管により、自立支援費等収入が大幅に増収、事業が黒字化となっている。また、利用者個々の希望を尊重し、心身状況に配慮した適切な支援が行われている。今後も引き続き利用者から望まれ、必要とされる事業所を目指して、利用者主体の事業運営の継続を求めたい。
11	小諸市ひまわり園	(福)小諸学舎	福祉課	C (C)	63 (62)	【指定管理者意見】 児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援と共に利用ニーズは高く、受入れ体制を考慮し実施した。また、児童発達支援センターとしての研修事業(ペアレントトレーニング、ティチャーズトレーニング)は好評で120名程の方が参加された。今後もご家族、関係諸機関と連携しながら児童の心身の健やかな成長および発達を支援するために努力したい。 【所管課意見】 児童発達支援、放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援を実施し、児童の心身状況等に応じた適切かつ効果的な指導、訓練及び支援が実施されている。また、児童発達支援センターとしての研修事業として、保護者対象のペアレントトレーニング、保育士、教師等を対象としたティーチャーズトレーニングは市内だけでなく市外からの参加者もあり、専門的知識を活かし、地域の中核的役割を果たす機関としての取組みもしている。今後も引き続き、利用者のニーズに応じた支援の実施を期待する。
12	小諸市水道施設等	(株)水みらい小諸	上水道課	C (C)	62 (64)	【所管課意見】 毎月のモニタリングにおいて指定管理業務が適正に実施されている。 水道機器メーカーと連携し水道DX化に向けた実証実験を積極的に行っている。 令和9年度から上下水道一体ウォーターPPPの導入に向け、業務体制の再構築を検討する。

令和6年度指定管理業務総合評価結果一覧

No.	施設名	指定先	所管課	評価 (前年度)	点数 (前年度)	指定管理者及び所管課の意見のまとめ、今後に向けての改善点など
13	ワークポート野岸の丘	(特非)ウイズハートさく	健康づくり課	C (C)	64 (65)	・就労継続支援B型事業における工賃向上の取り組み:小諸市清掃受託業務や東急ホテルグループ請負作業に加えて、農園作業等を継続し、利用者が継続的に利用できることにより、年間の工賃支払額を前年度に比べて増やすことができた。また、2月に野岸の丘まつりを開催し、利用者が主体的に活動した結果、売上増により工賃向上につながった。また、活動内容の周知が図られたことで焼き芋の定期販売にも結びつき、売り上げ増につながった。 ・余暇支援の取り組み:月2回を限度として土曜日に加えて祝日やお盆中も開催した。1回につき平均7名の利用者が参加し、調理実習や外出等を楽しめた。利用者同士の交流や就職者の休日の居場所にもなった。また、ピアサポーターと協働でリカバリー学習会やわかち合いの会も継続して開催し、生きづらさや生きやすくなる方法等について情報交換ができた。 ・就労定着を目指した取り組み:B型事業から利用者3名が正規雇用、契約の就労につながった。また、就労を目指す利用者に対して『自分の取説』作り、模擬面接を実施した。就労定着支援として、面接やメールを介した相談等を実施し、3名のうち1名が6か月以上継続し、他2名は現在も就労継続している。 ・訪問型自立訓練(生活訓練)では、訪問型では行政や関係機関と連携し、一人暮らし家庭への生活支援を継続的におこなった。通所型では、地域資源の開拓や買い物支援、パソコン検定資格取得等の個別支援に力をいれた。事業内容の周知を図る為、パンフレットの作成、配布を継続し、新規通所者6名につながった。野岸の丘まつりではホットドック販売による生産活動を実施し、利益を利用者に還元できた。利用者の達成感や自信につながった。社会生活の自立度評価表(SIM)にも着手し、今後は評価表を基にした支援の実施を目指したい。 ・小諸市社会生活支援事業として、利用にはつながらなかったが見学や相談は複数件あり対応した。新規利用者につながるよう引き続き、各関係機関と連携を図り、利用者が安心して集える場所を確保したい。
14	小諸市総合体育館等	(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	63 (63)	【所管課意見】 老朽化している施設で設備等に不備があるため他の自治体施設へ利用者を取られることもあったが、それでも管理者の創意工夫により利用者増を図っていただいている。
15	小諸懐古射院	(一財)小諸市スポーツ協会	スポーツ課	C (C)	62 (62)	【所管課意見】 小諸市スポーツ協会弓道部に管理運営をお願いしているが、会員や不特定多数の方が使用するため特に安全管理には特段の配慮をいただいている。 ・利用者拡大における取組は、観光局と協力して桜や紅葉の時期に弓道の体験教室等を計画するなど集客増を図っている。